



興部町議会報告会・意見交換会



信頼される議会に

興部町議会

議長 藤 渡 昭 博

町民の皆様には、日頃より議会へのご理解、ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

この度、開催しました議会報告会・意見交換会に、お忙しい中多くの町民の皆様にご参加をいただきました。心より感謝申し上げます。興部町の抱える課題や暮らしていく上で感じている課題など、率直なご意見を数多くお聞かせいただき誠にありがとうございました。ご意見は議会として真摯に受け止め、今後の議会活動や政策提言にしっかりと反映させてまいります。町民の皆様と直接意見を交わし、地域の課題を共有できたことは大変有意義な時間でありました。今後とも町民の皆様との意見交換の機会を設け、充実した議会活動につなげてまいります。

興部町も少子高齢化、人口減少、担い手不足など様々な課題に直面しています。これらの課題と向き合い町民の皆様がこれからも生き生きと暮らせるよう、議員として、そして議会として誠実に取り組んでまいります。私たちはこれからも開かれた議会、信頼される議会を目指し、町民の皆様の声をしっかりと受け止め、議会としての役割を果たしてまいります。引き続き議会へのご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

議会報告会・ 意見交換会を開催

興部町議会では、6月23日・24日に、町内2会場（沙留会場（3名参加）・興部会場（19名参加））において、議会報告会・意見交換会を開催しました。

議会の活動及び令和8年度予算の事業概要を報告した後、小グループに分かれて意見交換を行いました。

意見交換において、大変貴重なご意見をいただきましたので、報告会での質問・回答と併せて、ご紹介させていただきます。



議会報告会意見

令和8年度の主要事業について、内容を提示。各常任委員会委員長より青字の事業について説明を行い、その後、質疑を行いました。

【総務社会常任委員会】

ふるさと応援寄付事業・第七期総合計画策定事業・公私連携幼保連携型認定こども園施設整備事業・高校間口確保対策事業・**興部町高齢者外出支援ハイヤー等利用助成事業・災害対策事業**（災害備蓄用飲食料等整備・公共安全モバイルサービス）

【産業建設常任委員会】

鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業・森林環境保全整備事業・水産基盤整備事業・**再生可能エネルギー利活用推進事業**・道路改良舗装事業・射撃場施設整備事業・**ヒグマ対策事業・興部町鳥獣被害防止対策協議会事務費負担金**

継 続

事業名	興部町高齢者等外出支援ハイヤー等利用助成事業	事業費	510万円
【事業内容】 公共交通機関以外に移動手段を持たない高齢者等に対し、ハイヤー利用料の一部を助成し、日常生活の利便性向上と社会参加の促進を促し、高齢者等の福祉増進を図る。 交付対象：75歳以上高齢者、要支援1以上の認定者、妊産婦 交付枚数／年：24枚（字興部） 36→72枚（北興・秋里・豊野） 60→120枚（宇津・朝日・豊畑・沙留・住吉・富丘）			

枚数が
増えました

継 続

事業名	災害対策事業	事業費	202万円
【事業内容】 ●災害備蓄用飲食料等整備 災害への備えとして、備蓄用飲食料の整備を推進する。これまでアレルギー対応やハラル認証への配慮を行ってきたが、令和8年度からは新たに乳幼児用及び高齢者用の備蓄を開始し、さらなる充実を図る。 ・備蓄食料（主食）400食・備蓄食料（お菓子類）200食・乳幼児用備蓄（ミルク・おむつ等）10人分・高齢者用備蓄（おむつ等）20人分			

備蓄品が
増えました

新 規

- 公共安全モバイルサービス
災害発生時における関係機関の相互の確実な通信および情報共有を確保し、円滑な災害対応を実現するため、「公共モバイルサービス」を導入する。
○通信運搬費／公共安全モバイルサービス使用料
○使用料及び賃借料／IPトランシーバーアプリケーション利用料
○備品購入費（庁用器具費）／モバイル端末（スマートフォン）等5台
- ◎災害対策用の備蓄食料等は、どこに保管しているのか。
[A] 離乳食等は気温が高くなると駄目になるものもある。基本的に公民館等に備蓄しているが、今後の検討課題である。段ボールベットについては、興部であれば中学校等の倉庫、グラウンドと教員住宅側のコンテナに備蓄している。
- ◎災害対策事業において、女性用生理用品の備蓄が必要ではないか。
[A] 町備蓄リストに記載され、備蓄している。

事業名 災害対策事業 続き

- ◎沙留地区にガソリンスタンドが無くなったが、災害時の発電機等の燃料の問題があるが、その対応は。
- [A] 沙留公民館が避難所となっているが、発電機用の燃料は1日分備蓄している。
「災害時における石油燃料の供給に関する協定」を紋別地方石油業協働組合と締結している。

継 続

事業名	再生可能エネルギー利活用推進事業	事業費	386万円
-----	------------------	-----	-------

- 【事業内容】**
バイオガスプラントの普及を目指し、発生するエネルギーの利活用を推進。大阪大学、地域循環共生圏、研究機関等と連携した事業を展開。
○メタン酸化技術開発共同研究 など
- ◎バイオガスプラントの件であるが、毎年予算つけて大阪大学等と研究しているが、成果、進捗状況が聞こえてこない。
- [A] 令和5～7年度は、バイオガスプラントの生産物の利活用を研究。大阪大学とバイオガスからのギ酸生産実証実験や、再生敷料のマッシュルーム菌床への活用、消化液の品質検査を行い、堆肥の利用先拡大を目指している。ギ酸の生産には成功しており、今後はプラントの設置・稼働により、町内でのサイレージ用ギ酸の流通・活用を目指す。
(注) サイレージ～牧草などを発酵させ保存したもの。
(注) ギ酸～サイレージの不良発酵を抑えるために添加する。
- ◎再生可能エネルギーの活用推進事業について、研究開発は本来国が担うべきであり、町が長期にわたり取り組み続けるのはどうか。成果が出ない中、どこかで区切りをつける必要がある。
- [A] ギ酸の産業化だけでなく、牛の糞尿による悪臭などの課題も含め、バイオ対策を進めている。ギ酸事業については、国の補助に頼り続けることはできないため、議会としても今後の動向を注視していく。

新 規

事業名	射撃場施設整備事業	事業費	1千498万円
-----	-----------	-----	---------

- 【事業内容】**
射撃場施設整備により、捕獲従事者の技術向上と新たな担い手の確保、育成を図り、継続的な有害鳥獣（エゾシカ、ヒグマ）駆除の実施を図る。
○射撃場建設工事調査設計業務委託料（測量及び実施設計）／施設規模：300m 2レーン、プレハブ射屋1棟

事業名 射撃場施設整備事業 続き

- 【Q】射撃場施設整備事業について、興部町単独ではなく、近隣市町村や猟友会と連携した広域整備の考えはないのか。また、300メートルの射撃場が必要なのか。
- 【A】射撃場は、有害鳥獣駆除やヒグマの確実な駆除・捕獲、従事者の技術向上と担い手の確保・育成を目的として整備する。近隣市町村に協力を求めるが、広域整備は考えていない。運営方法は検討中だが、町外からの利用も可能と考えている。

新 規

事業名 ヒグマ対策事業	事業費 238 万円
-------------	------------

【事業内容】

- ヒグマ出没における対応対策に係る資材、備品等の経費（緊急銃弾対応含む）
- ヘルメット、クマスプレー、轟音玉（追払用花火）、コーナールール（茂み探索用）の購入
 - ヒグマ対策用草刈作業手数料
 - ヒグマ出没対応備品（デジタル簡易無線、デジタル簡易無線マイク）の購入

事業名 ヒグマ対策事業 続き

- 【Q】ヒグマ対策事業の草刈り手数料について、自治会が実施した場合の費用助成があるのか。町道周辺の草刈りを自治会から要望した場合は町で対応してくれるのか。
- 【A】ヒグマ対策事業では、ヒグマの行動を把握した上で町有地等の草刈りを行っている。
- 民有地のヒグマ回廊を自治会が草刈りする場合の支援については、今後検討する。町道周辺の草刈りは、ヒグマ回廊に該当する場合は実施を検討するが、単に草が生い茂っていることを理由とする要望には対応できない場合がある。

継 続

事業名 興部町鳥獣被害防止対策協議会事務費負担金	事業費 400 万円
--------------------------	------------

【事業内容】

- 鳥獣被害防総合対策補助金を活用し、町鳥獣被害防止対策協議会が実施するヒグマ GPS 追跡調査について支援する。2 か年の計画で、市街地付近に出没するヒグマを箱罠で捕獲後、GPS を装着して行動経路を調査し、出没経路を確定させ、出没抑制等の対策を図り地域住民の生活環境の保全及び被害防止を図る。

GPS 調査が始まります。

意見交換会でお聴きしたご意見

皆様からいただいたご意見は、議会として、今後、所管事務調査等を通し対応を検討し、政策提言へつなげていきます。

【補助金に関する裁判】

・アパート補助金問題について、売買双方の違反が判明している中、なぜ裁判を行うのか。税金である裁判費用の負担や、業者への行政指導について、議会として対応を求めたい。

【用途廃止施設の整理と活用】

・国保病院の旧病院について、解体の進捗状況や今後の解体時期など、町の方針を確認したい。放射線物質への対応も含め、解体が必要とされている施設である。

・旧病院の後始末について、町として早急に対応すべきであり、議会にも対応を求めたい。財政面を理由に先送りするのではなく、必要な対応を進めてほしい。

【子育て・教育支援】

・子ども園開設後の興部保育所の扱いについて、町の基本的な考え方を確認したい。こども園の整備や病院跡地についても、新設だけでなく既存施設の再利用などを含め、早期に方針を示すべきではないか。

・子どもが遊べる場所が少なく、西興部村や紋別市など町外へ出かけている。こども園に入っていない子どもも含め、子どもが遊び、保護者同士が交流できる場を町内に確保してほしい。

・町外の高校へ進学する子どもについて、保護者の下宿代等の負担が大きい。興部高校への支援だけでなく、町出身で町外へ進学する子どもにも、何らかの支援を検討してほしい。

・今年、興部高校には40人が入学し、公営塾などの支援が好評である。今後も入学者を維持・確保するため、学校も町も受け入れ体制や支援策を継続・充実させる必要がある。

【住宅問題】

・老朽化した公営住宅の建て替えや、高齢者向け住宅の整備について、町の今後の構想を示してほしい。議会も他町村の事例を参考に、より良い公営住宅整備を提言していくべきである。

・住宅の老朽化や高齢化により、将来、公営住宅への入居を希望する町民が増えることが考えられる。今後、公営住宅を整備する考えがあるのか。

【介護施設】

・国保病院の療養病床の一部を介護医療院等へ再編することは評価する。一方、ケアハウスの運営については、経営基盤や運営体制を十分検討した上で決定すべきではないか。

【公園整備】

・ジョイパークの東屋整備の事業規模を確認したい。また、以前修理を要望した噴水について、子どもが遊べる場として必要と考えるが。

・アニヌウ公園は草刈り回数が少なく利用しづらいため、くつろげる場所として整備してほしい。また、利用の少ない神社公園の草刈りを見直し、アニヌウ公園を有効活用してほしい。

【産業支援】

・沙留水産汚水処理施設の管理事業や旧施設の取り壊しについて町の支援を。商工会の商品券は町内経済の活性化につながるため、利用促進に向け、商工会窓口だけでなく町内の複数箇所を取り扱ってほしい。

【雪印の撤退に関して】

・雪印の撤退問題についてであるが、雪印が新築した従業員用アパートの処遇について聞きたい。雪印撤退後、独身寮等は、まだ新しいので有効活用をしてほしい。

【議会だよ】

・一般質問後の成果や対応状況を町民に分かりやすく発信し、議員活動が見えるようにしてほしい。

・議会だよよりは内容が難しく、読みにくいとの声がある。注目点や用語の豆知識などを掲載し、より分かりやすく親しみやすい紙面にしてほしい。

【議会・議員に望むこと】

・若者の定着問題、高齢者施設の問題、雪印の撤退問題などの問題を議員を含めて、町民みんなで考えていただきたい。このような会を年に1回ではなく、回数を増やしてほしい。

・昨年の議員の学校への参加は、議員の仕事や事務の仕組みを理解する良い機会となった。今後は、より参加しやすいよう夜間等の開催も検討してほしい。

・同じ会議室で2グループが同時に意見交換すると聞き取りにくいいため、次回は別室で実施してほしい。

・議員が町の事業を十分に理解した上で、町民の意見を聞くことが重要である。議員には、事業をよく勉強し、積極的に取り組んでほしい。

議会報告会 意見交換会

アンケート結果

次回の報告会には
どのような内容
を希望しますか。

- ・グループ分けで別室
- ・今回の内容で良かったように感じます
- ・回数を増やしてほしい(2人)
- ・今後も町民の意見や要望を聞くスタンスを続けてほしい

評価する理由

- ・いろいろな話を聞くことができた
- ・町民側のいろいろな意見が聞くことができた
- ・参考になり、考えさせられたことが多かった
- ・初めて参加させていただいたが、皆さんの意見を聞き、自分の勉強不足でした。これから参加させていたいただきたい。
- ・町政、政策のチェック、政策立案に町民の声を少しでも反映させていたただくため、これからお願いします

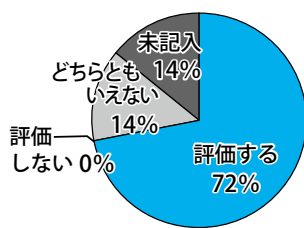
・議員の回答が長い。町民の意見の時間が減る。端的な回答で次々違う話に進められるとよい。

・1年に開く回数を増やして欲しい。時間延長ありとして欲しい。時間が足りないと思う人はいる。

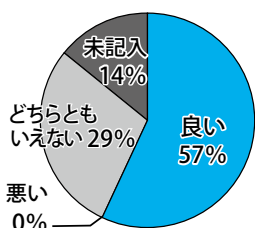
・議員全員と対面で意見交換をする機会があるため

・気になっていた事業の詳細を知ることができた。

評価



内容



編集後記

議会報告会・意見交換会には、多くの皆さまにご参加いただき、貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。紙面の都合上、すべてのご意見を紹介することはできませんが、その一部を特集号としてお届けします。

編集作業を進めながら改めて感じたのは、町民の皆さまが町のことを自分事として考え、それぞれの立場から真剣に思いを寄せてくださっているということです。一つひとつの言葉には暮らしの実感や地域への願いが込められており、私たちにとても多くの気づきと学びがありました。

すぐに答えを出せない課題もありますが、いただいた声を大切に受け止め、議員一同、対話を重ねながらより良い町づくりにつなげてまいります。これからも皆さまの声をお寄せいただければ幸いです。

(記：議会広報特別委員会)

委員長 大黒 敦子

広報委員長 大黒 敦子

副委員長 桑辺 博教

委員 竹内 清

委員 鈴木 精一

議会事務局長 大石 徳博

議会事務局主事 齊藤美早紀